

令和2年2月17日

(一社)琉球びんがた普及伝承コンソーシアム・(一社)琉球伝統芸能デザイン研究室
琉球びんがた・琉球伝統芸能による『琉球王朝の魅力発信強化』に向け包括連携協定を締結

一般社団法人琉球びんがた普及伝承コンソーシアム（以下、びんがたコンソ）は、2019年4月に発足し、琉球びんがたのデザイン活用・知財活用を核とした工芸の新しいビジネスモデルの構築及びびんがた体験メニュー開発等のコト消費の拡大に関する取組み、いい色琉球びんがたの日(11月16日)制定等、びんがたの普及啓蒙活動を重ねてまいりました。

一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室（以下、琉芸デザイン）は2019年4月に発足し、琉球王朝時代の高貴な『うとういむち』（おもてなし）を甦らせることを理念に、「琉球伝統芸能＝宮廷芸能」にこだわり、原点である少人数・小空間を基にした上質な琉球芸能を提供すべく、首里城を含めた沖縄県内や東京での上演を進めてまいりました。

琉球王朝の庇護の元、琉球びんがたと琉球伝統芸能は、共にその発展の歴史を刻んでいる中、2019年に発足した両団体は、各々の業界の抱える課題や可能性を共有しており、そのビジョンやミッションにおいても重なる部分があります。

また2019年5月には沖縄県から初めて「日本遺産」として「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な『琉球料理』と『泡盛』そして『芸能』」が認定され、「沖縄そして日本の文化芸術の発信」がどうあるべきか問われています。

この度、「びんがたコンソ」と「琉芸デザイン」は、包括連携協定を結ぶことで、より明確なビジョンを持ち、双方の魅力を一層引き出し、『琉球王朝の魅力発信』を進めて参ります。

一般社団法人 琉球びんがた普及伝承コンソーシアム	代表理事 屋富祖 幸子
一般社団法人 琉球伝統芸能デザイン研究室	代表理事 山内 昌也

=====

■背景認識

伝統をリスペクトした革新の連続が 今日の伝統工芸・伝統芸能を形成

■連携する目的

琉球王朝時代に構築された びんがた・伝統芸能の密接な関係を伝統として重んじつつ、革新的な視点を含め『琉球王朝の魅力発信』する新たな研究・事業開発により、琉球びんがた・琉球伝統芸能の普及拡大に繋げつつ沖縄の観光事業拡大に貢献

■具体的な取組（現時点）

- ベース活動 ①琉球古典舞踊（女踊）における“本物の琉球びんがた”活用促進
②新たな琉装・びんがた図柄開発と芸術表現研究
- 事業活動 ③世界遺産「玉陵・識名園」での新たな“社会貢献活動”
④『琉球王朝の魅力』を新提案 “上質な観光コンテンツ開発”

■連絡先

- ・(一社)琉球びんがた普及伝承コンソーシアム 事務局長:小渡 info@bingataconsortium.com
- ・(一社)琉球伝統芸能デザイン研究室 事務局長:平賀 inquiry@ryu-design.or.jp

以上

(補足1)

■一般社団法人 琉球びんがた普及伝承コンソーシアム 概要

設立日	平成31年4月25日	
所在地	沖縄県那覇市首里山川町1-112	
代表理事	屋富祖幸子	やふそ紅型工房
理事	城間栄市	城間びんがた工房
	知念冬馬	知念紅型研究所
	小渡玠	株式会社 okicom
	山崎晴太郎	株式会社セイタロウデザイン
	大城直也	株式会社日進商会
	糸数寛	日本トランスオーシャン航空株式会社
	國吉博樹	沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社
	中村靖	沖縄ツーリスト株式会社
監事	岸博幸	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
コンセプト	産官学のコラボレーションによる琉球びんがたの普及・伝承の取り組み	
理念	ゆいまーる精神のもと、本物の琉球びんがたを届ける	
ミッション	琉球びんがたを適正に使用し、技術伝承に繋げる	
活動	1) ライセンス事業	2) 普及販売事業
	3) 技術伝承事業	4) 知財モニタリング事業

主な取組実績

- ・「西陣織と琉球びんがたとの出会い」
- ・「いい色琉球びんがたの日」制定
- ・「琉球びんがた泡盛サロン」
- ・日本トランスオーシャン様 ヘッドレストカバー
- ・那覇空港国際線 クリスマスツリー 等



■一般社団法人 琉球伝統芸能デザイン研究室 概要

設立日	平成31年4月19日	
所在地	沖縄県立芸術大学 山内昌也研究室	
代表理事	山内 昌也	琉球古典音楽野村流・湛水流師範／沖縄県立芸術大学准教授
理事	比嘉 康春	沖縄県立芸術大学 学長
	花城 良廣	一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長
	高良 倉吉	国立大学法人琉球大学 名誉教授・文学博士
	西大 八重子	南の島のフィニッシングスクール西大学院 学院長
監事	福地 敬	一般財団法人沖縄美ら島財団 総務部長
理念	琉球王朝時代の高貴な『うとういむち』(おもてなし)を甦らせる	
コンセプト	伝統と革新	
活動	1) 表現・空間研究活動	: 上質な空間演出のための表現研究
	2) 芸術家育成活動	: 現代に蘇る踊奉行
	3) 事業企画・開発	: 定期公演・受託事業の創出
	4) 社会貢献活動	: 芸術による教育・福祉活動

主な取組実績

- ・会員公演@東京 (伝統芸能+伝統菓子)
- ・小空間での伝統芸能体験会@那覇 (美榮)
- ・設立記念公園@東京
- ・おきみゆー誕生祭 (沖縄県立博物館・美術館)
- ・首里城公園 新春の宴 等



(補足 2)

■連携による具体的な取組（現時点）

●ベース活動

①琉球古典舞踊（女踊）における“本物の琉球びんがた”活用促進

・琉球古典舞踊（女踊）では、衣装に琉球びんがたを使用した琉装を纏いますが、その衣装である琉球びんがたの“本染め活用”が低下。本物の琉球びんがた活用促進による魅力発信に向けた取組みを進めます。



②新たな琉装・びんがた図柄開発と芸術表現研究

・琉球古典舞踊（女踊）では格式の高い伝統の中、琉装で使用する琉球びんがたの図柄はおおよそ決まっていました。固定観念を取り払い、現代の感性で踊り手と職人のコラボレーションにより琉舞とびんがたの新たな関係性に迫り、新しい芸術表現を探求します。



●事業活動

③世界遺産「玉陵・識名園」での新たな“社会貢献活動”

・「玉陵・識名園」を訪れる方に、琉球王朝時代に構築された文化・芸術の魅力をお伝えする社会貢献活動として 両法人が連携することで初めて実現できる新たな上演スタイルをご提供。

> 「玉陵 アートパフォーマンス」

「歴代の国王・王妃への奉納」をコンセプトに歌三線によるアートパフォーマンスを実施。

※県内企業が開発した超肉薄コンクリートパネルにびんがたアートを施した特製ステージ



> 「識名園 伝統芸能とびんがたの美」

「琉球王朝時代の再現」をコンセプトに識名園の和室で上演されていた琉球王朝時代と同じ場所・スタイルで伝統芸能（舞踊+歌三線）を解説と共に上演すると同時に、びんがたの展示・説明。



④『琉球王朝の魅力』を新提案 “上質な観光コンテンツ開発”

・旅行先でしか体験できない特別なコンテンツニーズを踏まえ琉球王朝文化に起源を持つ琉球古典舞踊・琉球びんがたを中心に、付加価値の高い“特別な体験”を沖縄を訪れる上質な旅行者様にご提供。

> 琉球王朝文化サロン@ラグジュアリーホテル様

琉球料理・泡盛もパッケージにした特別な体験



以上